

令和7年 年頭記者会見

豊かで持続可能なまちづくりの実現に向けて ～人生100年時代、ウェルビーイングの向上へ～

1 新年抱負

本市は、市制を施行してから80年が経過し、現在では、30万余の市民が暮らす成熟した都市へと発展してきました。わが国の人口は2008年をピークに減少傾向にありますが、本市におきましても市制施行以降初めて人口減少の局面に入り、今後は、地域コミュニティの衰退をはじめ、社会的孤立や労働力の低下など、市民の暮らしや地域経済への様々な影響が懸念されております。

また、本市ではこれまで、人口の増加や市民ニーズの多様化にあわせて多くの公共施設を整備してきましたが、老朽化が進み、更新の時期を迎えていることから、地域の実情を考慮しつつ、そのあり方を見直していく必要があります。

このような状況の中で、将来世代に過度な負担が生じないように効果的・効率的な行政運営に取り組むとともに、働きながら安心して子育てができる社会環境を整備するなど、若い世代から愛され、選ばれる、魅力的な都市を形成していかなければなりません。

人生100年時代を迎えた中、市民の皆さまが10年後、20年後、さらにその先も心豊かに幸せを感じながら暮らすことができるまちの実現に向け、いきがづくりへの取り組みをさらに進め、将来にわたって個人が身体的、精神的、そして社会的にも健康であるという「ウェルビーイング」を高めるとともに、地域社会においても「ウェルビーイング」の向上に取り組んでまいります。

2 令和7年の主な取り組み

(1) 防災・生活安全について

近年頻発する、地震や豪雨など全国で自然災害への危機感が一層高まっている中、避難所環境の整備は基より、減災の観点から雨水管・排水路の整備を進めるとともに、防犯や交通安全に関する施策などを充実し、安全安心なまちづくりを推進します。

○避難所の生活環境対策、学習環境の整備

- ・小中学校体育館の空調設備設置実施設計開始、体育館リニューアル工事に併せ中学校（1校）に空調機を設置

○交通安全対策

- ・子どもに配慮した道路施設の整備（グリーンベルト、防護柵）

(2) 健康・福祉について

人生100年時代を迎え、医療や介護にできる限り頼らなくてもよい環境づくりに努めます。また、多様化する福祉課題に対応するため、支援機関や地域住民との連携により、当事者に寄り添った重層的で包括的な支援体制を構築するなど、市民の命と健康を守る施策を推進します。

○住み慣れた地域で暮らすための取り組み

- ・総合的な福祉拠点整備（PFI等導入可能性調査）
- ・住居を喪失した生活困窮者への市営住宅活用

(3) 子育て・教育について

こどもたちが自分らしく健やかに幸せな生活を送ることができる社会を実現するため、こどもまんなかの春日井をめざし、未来を担うこどもたちを社会全体で健やかにはぐくむ環境を整備します。

○こどもの成育環境整備

- ・かすがいこども権利条例の制定
- ・全ての子どもの家の長期休業時開始時刻を繰り上げ

○教育環境の整備

- ・小学校・中学校の適正規模等の基本的な考え方を策定（2月）
- ・民間施設を活用したプール授業を全小学校で実施

(4) いきがいと市民活動、文化・スポーツの推進について

あらゆる世代の方々の心身の健康やいきがいくりにつながるよう、地域における活動への環境整備や、文化・スポーツの振興に努めます。

○いきがい推進

- ・いきいきポイント制度開始（1月16日から）
- ・鷹来公民館リニューアルオープン（9月）

○文化・スポーツの振興

- ・アジア競技大会に向けた総合体育館の機能向上
- ・照明設備をリニューアルした中央公園の利用開始（4月）

(5) 都市基盤・産業について

地域の特性を踏まえながら、これまで築いてきた都市基盤と豊かな自然を活かし、安全安心で快適な暮らしができるまちづくりを進めます。また、地域の活力を生み出す原動力となる産業振興については、雇用の創出や地域資源の有効活用を促進するなど、持続的な発展を支援します。

○駅利用者の利便性向上

- ・JR高蔵寺駅北口駅前広場実施設計
- ・名鉄春日井駅の駅舎と自由通路の整備

○公園施設整備

- ・落合公園再整備実施設計
- ・高森山公園改修工事

○企業誘致

- ・春日井インターチェンジ周辺大泉寺地区企業誘致

(6) 環境について

地球温暖化対策は、市民、事業者と社会全体で取り組む必要があり、現在の地球環境を持続させることがグローバルな課題となっています。ごみ処理などを含む市民の環境に対する意識の向上や環境に優しい事業を進めます。

○ごみの適正処理と減量

- ・クリーンセンター改修工事（～令和8年度）

○不用品のリユース

- ・リユース活動の促進に向けた連携協定を締結・・・【資料1】

○ごみ処理の相互支援

- ・多治見市とごみ処理に関する協定を締結・・・【資料2】

(7) 行財政運営について

本市の財政状況は、社会保障費や公共施設の維持管理費の増加などが見込まれることから、限りある経営資源を効率的・効果的に必要な施策に配分していくことが必要です。歳出の徹底的な見直しを行うほか、行政手続きのDXをさらに推進するなど、これからの行政サービスのあり方について検討していきます。また、紙媒体、デジタルの相互活用など、これまで以上に市政に関して効果的な情報発信に努めます。

○市政情報の発信

- ・市公式LINEの機能拡充

(8) その他

- ・第48回春日井まつりスペシャルステージを開催・・・【資料3】
- ・第7回「日本ICT教育アワード」で文部科学大臣賞の受賞が決定！
・・・【資料4】
- ・演劇×自分史第6弾公演をお届け・・・【資料5】
- ・世界最高峰のハンドベルコンサートを開催・・・【資料6】